

平成 25 年度第 3 回温海地域地区公民館運営審議会

○日 時 平成 26 年 3 月 11 日 (火) 午後 3 時

○場 所 温海ふれあいセンター 2 階会議室

☆ 市民憲章唱和

次 第

1. 開 会
2. あいさつ 委員長 本間 英 機
温海公民館長 石塚 み さ
3. 報 告
(1) 地区公民館にかわる新組織体制について
4. 協 議 (座長：委員長)
(1) 平成 25 年度社会教育関係事業実績と総括について
(2) 平成 26 年度社会関係事業基本方針・重点事項及び事業計画について
(3) その他
5. その他
6. 閉 会 副委員長

鶴 岡 市 民 憲 章

出羽の山なみと日本海に抱かれ、歴史と文化を築いてきた、いのち輝くまち鶴岡。
わたくしたちは、このふるさとを愛し、力を合わせて、希望に満ちた未来をひらきます。

自然を尊び、環境をととのえ、美しいまちにしましょう。

心も体も健やかに、命 はぐくむまちにしましょう。

認め合い、助け合って、笑顔あふれるまちにしましょう。

働くことを喜び、生き生きとした豊かなまちにしましょう。

進んで学び、共に語り、創意わき出るまちにしましょう。

地区公民館運営審議会委員名簿（温海地域）

（任期：平成25年4月1日～平成27年3月31日）

| | 氏名 | 居住地(勤務地) | 備考・役職名 |
|----|-------|----------|--------------------|
| 1 | 遠見良一 | 鼠ヶ関 | 鼠ヶ関小学校校長 |
| 2 | 瀬尾治 | 大岩川 | 温海中学校校長 |
| 3 | 本間勝彦 | 山五十川 | 温海体育協会副会長 |
| 4 | 榎本五郎治 | 小岩川 | 温海芸術文化協会事務局長 |
| 5 | 伊藤貢 | 越沢 | 青年団体連絡協議会代表 |
| 6 | 伊藤喜一 | 戸沢 | 戸沢自治公民館館長（第1地区） |
| 7 | 遠田茂昌 | 湯温海 | 湯温海自治公民館館長（第2地区） |
| 8 | 五十嵐善幸 | 関川 | 関川自治公民館館長（第3地区） |
| 9 | 五十嵐光男 | 鍋倉 | 鍋倉自治公民館館長（第4地区） |
| 10 | 佐藤美代子 | 鼠ヶ関 | 温海地域婦人会会長 |
| 11 | 斎藤徹 | 湯温海 | 学識経験者 |
| 12 | 五十嵐幸男 | 湯温海 | 鶴岡市老人クラブ連合会 温海支部長 |
| 13 | 本間英機 | 山五十川 | あつみ福社会理事 |
| 14 | 難波貢 | 温海 | 鶴岡市社会福祉協議会 福祉センター長 |

平成25年度

温海地域社会教育関係事業

事業実績と総括

◎平成25年度 生涯学習・社会教育の実績と課題及び来年度の方向性

温海地域【社会教育】

重点事項 1. 遅しさを優しさ・賢さを育む学校教育の推進

| 実践課題 | 具体的手立て | 事業名等 | 対象等 | 人数等 | 時期・回数等 | 会場等 | 成果(○)と課題(■) | 来年度の方向性 |
|-----------------------|---------------------------|------------------------------------|----------|-----|--------|-----|---|--|
| (1) 心豊かで思いやりのある青少年の育成 | ① 青少年を取り巻く環境の浄化及び健全な心身の育成 | 青少年育成センター運営事業 (青少年育成センターとの連携事業) | 青少年育成推進員 | 5名 | 通年 | 市内 | ○ボランティア養成講座へ協力 ○社会を明るくする運動に伴う中学生への呼びかけ ○各種研修会に参加し理解を深めた | ・地域活動として青少年対象の講座への協力 ・社会を明るくする運動と連携 |

重点事項 2. 多様な学習活動を支援する環境づくりの推進

| 実践課題 | 具体的手立て | 事業名 | 対象等 | 人数等 | 時期・回数等 | 会場等 | 成果(○)と課題(■) | 来年度の方向性 |
|------------------------------|-----------------------------|------------------|---------|-----------------|--------|-----------|---|--|
| (1) 社会教育施策の充実と社会教育関係団体への支援 | ① 社会教育委員会議 | 社会教育委員会開催事業 | | 20名 | 3回 | 本所 | ○青年教育支援をテーマに協議した。 (温海地区からの委員2名) | ・家庭教育支援をテーマに検討の予定 |
| | ② 社会教育関係団体活動支援 | 温海地域青年団体連絡協議会支援 | 3団体 | | 通年 | | ○青年対象講座への参加呼びかけ ■協議会としての機能低下 | ・各団体、行政での協議会の位置づけの検討 |
| | | 温海地域婦人会支援 | 9単位婦人会 | 622名 | 通年 | ふれあいセンター他 | ○研修会・講習会を通じ教養を高め、会員相互の親睦を深めた。 ○婦人会だよりを発行し、活動を周知するとともに、ボランティア活動にも積極的に取り組んだ。 | ・婦人会員の交流と学習 ・婦人会活動への関心を高める工夫 ・役員の自主的活動をさらに促進 ・情報提供の充実 |
| | | 温海地域女性団体連絡協議会支援 | 5団体 | | 通年 | | ○連携を深め、地域づくりに貢献 ■各団体の自主活動が優先となっており、連協としての活動が難しい。 | ・各団体の連携で効果がある、魅力ある事業等の実施、各団体活動への協力 ・リーダー育成を重点 |
| | 少年会の育成・指導 | 各少年会 | | 通年 | | | | |
| ③ 社会教育関係職員の研修の充実 | 社会教育関係職員研修 | 社会教育指導員 | 社会教育指導員 | 1人 | 通年 | | ■参加できなかった。 | ・生涯学習推進員研修会への参加の検討 |
| | 生涯学習推進員研修会 | 推進員 | 推進員 | 14人 | 1～2回 | | (市全体での研修会実施) ■推進員の参加が少なかった。 | ・有意義な研修となるよう日程調整も含めて検討 |
| (2) 市民の学習を推進する社会教育事業の展開 | ① 生涯学習振興事業 1)学習情報の提供 | 生涯学習イベントポスターの作成 | 市民 | 約30事業 10～11月 | 9月 | 温海地域 | ○イベントカレンダーを作成し全戸配付 ○市民が関心を持つきっかけとなり参加促進が図られた。 | ・情報提供の方法を検討 ・生涯学習へのきっかけとなるように、カレンダー又はチラシを作成し市民への周知に努める。 |
| | | 生涯学習情報誌 広報温海地域版等 | 市民 | | 通年 | 温海地域 | ○特徴的なイベントや講座の情報提供 | |
| | | 温海地域年間行事計画発行事業 | 市民 | | 4月 | 温海地域 | ○地域の行事の確認とPRに役立った。 | ・今年度と同様に発行 |
| 実践課題 | 具体的手立て | 事業名 | 対象等 | 人数等 | 時期・回数等 | 会場等 | 成果(○)と課題(■) | 来年度の方向性 |
| (2) 市民の学習を推進する社会教育事業の展開(つづき) | ② 家庭教育推進事業 1)家庭教育支援講座の開催 | 温海地域単独事業 | 未就園児 | 28名 | 1回 | 林業センター | ○親子のかかわりに役立つ遊び方について学んだ。 ○実施内容や周知について子育て支援センターと連携し実施した。 | ・同様に開催する。 |

| | | | | | | | | |
|---------------------------------------|-------------------------|---|--------------|---------------------|-------------|------------------------|--|---|
| | | 家庭教育支援講座の開催 | 保護者等 | 206名 | 6回 | 各保小 | ○祖父母を対象とした講座もあり、家族みんなで子育てをしていく重要性を伝える機会となった。 | ・様々な状況をふまえながら、講師情報やテーマを含めた推進の継続。 |
| | 2)PTA研修事業の支援 | PTA合同研修会支援 | 小・中PTA会員 | 33名 | 1回 | 温海小 | ○子育てについての知識と実践方法を理解し、自分自身の振り返りを含め、家庭教育の充実が図られた。 | ・横の連携を強化し、参加者拡大を目指す |
| | 3)ブックススタート事業 | 温海地域ブックススタート事業 | 乳幼児 | 40人 | 6回 | 林業センター | ○親子で絵本を借り、大切に読んでもらうことでも、実際に読み聞かせをしてもらうことでその楽しさを実感することが出来た。 | ・来年度よりにこふるでの健診に一本化されるため、温海地域内でのブックススタートは開催されない。 |
| ③ 青少年教育事業 1)地域の資源を生かした学習事業、体験事業の充実 | | 青少年参加活動支援事業(花いっぱい運動・世代間交流) | 小・中学生 | | 4～11月 | 各集落 | ○各集落単位で独自に事業を展開 | ・広域的な活動の検討 |
| | | 温海地域小学生リーダー研修会 | 小学生 高学年 | 22名 | 3月22～23日 | にこふる外 | ○防災教育を行った ○児童参加型の研修を行った ○温海地域を知る研修を行った | ・次年度も同成果に沿った事業を展開する |
| | | 青少年ボランティア養成講座 | 中高年生 | 67名 (受講生 19名) | 6回 6月～8月 | 温海地域 | ○中高生を対象とした講座として定着 ■魅力的な講座メニュー | ・講座内容の充実 ・受講生の募集に力を入れる |
| | 2)青少年の健全育成 | ぼく・わたしの一人一標語運動実施 | 小・中学生 | 551名 | 6～11月 | 各集落 | ○優秀作品標語ポスターの作成 ○有線放送等による標語の啓発 ○家庭・学校・地域の連携 | ・同様に実施する ・優秀作品ポスター掲示は11月の子ども・若者育成支援強調月間 |
| ④青年層の社会参画活動の推進 | 温海地域新成人交流事業支援 | 温海地区成人 | 85名 | 8/15 | ふれあいセンター | ○成人者による式の運営、はたちのつどいの実施 | ・引き続き実行委員会方式で実施 | |
| ⑤女性教育の充実 | | 女性団体連絡協議会公開講演会:「食を伝えつなぐ」 | 一般市民 | 約90名 | 11月24日 | ふれあいセンター | ○毎年度テーマを設けて事業展開している。25年度は昨年引き続き「食文化」とした。一般市民向けの事業として評価 | ・次年度以降もテーマを設け事業を展開する |
| | | 温海地域婦人会研修会開催事業 講演:「楽しい健康づくりで生き生きと暮らす」 講師:田澤縁氏 | 婦人会員 一般市民 | 120名 参加予定 | 3月9日 | ふれあいセンター | ○女性の教養を高めるとともに、会員以外にも参加を呼びかけ活動のPRに努めた。 | ・婦人会活動の理解の輪を広めるため、公開研修会とし実施。 |
| | | 県婦人大会参加推進事業 | 婦人会会員 | 9名 | 9月22日 | 鶴岡市 | ○県内の他団体の会員と交流・学習 | ・各種事業への積極的な参加 |
| | | 各地区公民館女性対象事業の開催 | 地区民 | 6回 | | 各地域 | ○健康づくりや生活に役立つ情報を提供 | ・地区民の交流拡大、自治公民館活動への関心を高める |
| ⑥高齢者教育の充実 | | 高齢者大学「寿燦々塾」支援 | 老人クラブ | | 通年 | | ○老く連が福祉担当、社会福祉協議会と連携して事業を展開 | ・連携協力 |
| | | 老人体育レクリエーション支援 | 老人クラブ | | 9月 | | | |
| (3) 地域公民館のあり方の検討 | ① 地域の拠点施設としての公民館のあり方の検討 | 地域公民館管理運営事業 (温海地域地区公民館運営審議会開催) | 委員 | 14人 | 3回 | ふれあいセンター | ○事業総括と新年度計画についての審議による事業評価 ○年3回開催し、地公民館廃止及び新たな組織の立ち上げに向けて検討した。 | ・「温海公民館と地域活動・事業のあり方」の検討を行うため、年3回開催し、温海地域の方向性の検討協議の充実を図る |

| 実践課題 | 具体的手立て | 事業名 | 対象等 | 人数等 | 時期・回数等 | 会場等 | 成果(○)と課題(■) | 来年度の方向性 | |
|---|---|--|--------------|---------|---|-----------------------------------|---|---|---|
| (4) 生涯学習社会に対応する図書館づくり | ① 図書館事業の充実 | 図書整備事業 (一般、児童図書、雑誌等購入) | 一般市民 | | 通年 | | ○おはなし会の開催(4回)により子どもの読書活動の推進を図った。 ○ブックスタート事業で絵本の紹介と温海分館のPRをした。 | ・本館との連携による読書推進と蔵書整備 | |
| | ② 自動車文庫「やまびこ号」による移動図書館事業の実施 | 移動図書館事業 | 児童 | | 昼休・放課後 30分～60分 | 山戸小 鼠ヶ関小 五十川小 温海小 福栄小 | ○多くの児童の利活用 | ・継続実施による読書推進 | |
| | ③ おはなし会、対面朗読等読書推進活動の支援及び関係ボランティアの育成 | 読書奨励事業 (絵本読み聞かせ隊「ポッケ」支援事業) | 園児、児童 | 2,491名 | 121回 (12月末現在) | | 各保小 | ○子どもの情操教育に役立っている。 ○読み聞かせの依頼が増えている | ・読み聞かせの重要性をPR ・活動内容の充実を図るため、研修等を行う。 |
| 読み聞かせおはなし会 (読み聞かせボランティアの協力をいただきながら開催) | | 幼児・児童 | 40名 | 4回 | | ふれあいセンター 福栄地区 鼠ヶ関地区 | ○地区での開催により図書館活用の推進を図った。 ■周知方法 | ・読み聞かせの重要性を図ると共に、図書館利用についてもPRしていく。 | |
| (5) 生涯学習の魅力ある拠点づくり | ① 地区公民館事業の充実 1)魅力ある講座等の実施と地域学習の推進(委員会・研修会・公民館講座・イベント等) | 第1地区公民館運営委員会 | 委員 | 20名 | 4月16日 | 山五十川公民館 | | ○地区事業についての理解と協力依頼 ○各自治公民館と関係機関との意見交換の場 | ・地区事業についての理解を深めてもらうとともに、各自治公民館と関係機関との意見交換の場として開催する。 |
| | | 第2地区公民館運営委員会 | 委員 | 21名 | 4月12日 | ふれあいセンター | | | |
| | | 第3地区公民館運営委員会 | 委員 | 16名 | 4月22日 | 関川しな織の里ぬくもり館 | | | |
| | | 第4地区公民館運営委員会 | 委員 | 18名 | 4月23日 | 海洋センター | | | |
| | | 各地区公民館研修支援 | 各公民館 役職員等 | | 10～2月 | | | ○各地区で地区の課題を考慮し研修会を実施。内容に合わせた講師の選定。 | ・引き続き、地区の課題を共有しながら、地域づくりの研修会等へ情報提供する。 |
| | | 地区公民館運営事業 (地域公民館事業補助金) | 1～4地区 | | 通年 | | | ○地区住民の交流や地域づくりのための事業を展開した。 | ・引き続き、地区住民が集う事業や、地域づくりの研修会等を実施する。 |
| | | 第1地区公民館 軽スポーツ交流会 (グランドゴルフ・ラージボール卓球) | 1地区民 | 57名 | 7月28日 | 山戸小学校 | ○暑い時期の開催であったが、地区住民の相互の親睦と融和を深めることができた。 | ・同様に開催する。 | |
| | | 第1地区公民館 地域づくり講座(小学生対象)自然体験事業 「ジェルキャンドルづくり」 | 1地区小学生 | 30名 | 9月30日 | 五十川海岸及び五十川公民館 | ○地区内の二つの小学校の交流と異年齢交流を図ることができた。 ○身近な資源である海に触れ、海を表現するキャンドルづくりを通して、自分のふるさとの良さを感じてもらうことができた。 | ・地区内の二つの小学校の子どもたちの交流の場、身近な地域資源を学ぶ場を提供する。 | |
| 【再掲】第1地区公民館 地域づくり講座(女性対象)国際理解講座出前講座「コーリー先生とメリークリスマス」 | 1地区民 | 34名 | 11月28日 | 山五十川公民館 | ○親子でも参加し、外国のクリスマスについて知り、体験することができた。講師であるALTとの交流の場にもなった。 | ・温海公民館講座出前講座を活用し、地区民への学習の機会を提供する。 | | | |

| 実践課題 | 具体的手立て | 事業名 | 対象等 | 人数等 | 時期・回数等 | 会場等 | 成果(○)と課題(■) | 来年度の方向性 |
|---|--|--|----------------------------|-------------|--------------|--------------------------|--|--|
| (5) 生涯学習の魅力ある拠点づくり (つづき) | ① 地区公民館事業の充実 1)魅力ある講座等の実施と 地域学習の推進(委員会・ 研修会・公民館講座・イベン ト等) (つづき) | 第1地区公民館 自治公民館役職員研 修視察 | 1地区管 内自治公 民館 | 15名 | 11月30日 | 遊佐町 蕨岡地区 | ○地区の課題を考慮し、研修視察を 実施。 ○高齢者の見守りの仕組み等環境 づくりの研修を行なった。 | ・引き続き、地区の課題を共有しながら、 先進的な取り組みについて学ぶ機会を 提供する。 |
| | | 第1地区公民館 地域づくり講座(女性対 象)「アロマオイルで マッサージ講座」 | 1地区住 民 | 17名 | 2月13日 | 山五十川公 民館 | ○マッサージについて学び、体験す ることで参加者同士心地よい時間 を過ごすことができた。 ○講座終了後には、講師及び参加 者が交流する時間を設け、地区内の 女性の親睦が深まった。 | ・さまざまな世代の女性と交流できる場を 提供する |
| | | 第2地区公民館 役職員研修会 | 2地区管 内自治公 民館長・ 主事 | 19名 | 6月22日 | 温海温泉林 業センター | ○集落の活性化について、各集落で の取り組みや、人材育成の方法など の意見交換を行い、話題を共有する ことができた。 | ・引き続き、地区の課題を共有しながら、 課題解決に結び付く学習を実施する。 |
| | | 【再掲】第2地区公民館 地域づくり講座(女性対 象)エンジョイワールド 出前講座「ハロウィン パーティーin2地区」 | 2地区民 | 63名 | 10月31日 | 温海温泉林 業センター | ○多くの子供達や親子連れから参加 を得て、楽しく取り組むことができた。 ○参加者からは来年の開催を望む声 も多く、盛り上がりのある企画とす ることができた。 | ・温海公民館講座出前講座を活用し、地 区民への学習の機会を提供する。 |
| | | 第2地区公民館 小学生対象事業「冬レ ク2014」 | 2地区小 学生 | 51名 | 2月11日 | 小国ふる里 ふれあい村 | ○雪上レクリエーションや雪灯籠づ くりをとおして、思いっきり雪遊びが 出来て良かった | ・地域資源を活用したプログラムを検討す る。 |
| | | 第3地区公民館 福栄地区夢街道G5V 事業 | 3地区民 | 138名 | 5月～10月 | 各集落 | ○花植えを通し地域民が交流しな がら地域の環境整備ができた。 | ・次年度も同様に実施する。 |
| | | 第3地区公民館 球技大会 (バスケットボール、バドミ ントン、ゲートボール、ソフトボ ール、グラウンドゴルフ) | 3地区民 | 180名 | 6月23日 | 福栄小学 校他3か所 | ○参加者はみな楽しくプレーでき た。 ○地区住民の相互の親睦と融和を深 めることができた。 ■例年同じ時期に開催してきた事業 であるが、消防の換法講習会と重な り、多くの選手が参加出来ず残念 に感じた。 | ・体育協会福栄支部と内容を検討しなが ら開催する。 |
| | | 第3地区公民館 「女性の楽校」開催事 業 | 3地区民 | 66名 | 2回 9月、11月 | 木野俣 公民館他 | ○学ぶことができた ○地域の世話役さんから講師を努め てもらうなど積極的に関わっていただ いて学び、3地区で取組んでいる「福 の里」の今後の取組みの参考となっ た。 | ・地区民の女性の交流と地区活動への関 心を高める |
| | | 第3地区公民館 役職員視察研修 | 3地区管 内館長・ 主事 | 9名 | 11月16日 | 朝日大鳥 地区 | ○小・中学生が高齢者世帯へ一枚一 枚手書きで心を込めて年賀状を作成 することができた。 ○異年齢交流が出来て良かった。 | ・引き続き、地区の課題を共有しながら、 学ぶ機会を提供する。 |
| | | 第3地区公民館 青少年事業 | 3地区 小・中 学生 | 14名 | 12月9日 | 福栄児童館 | ○福祉の地域の支え合い活動につ いて、関係者の情報共有により連携 の強化が図られた | ・同様に実施する。 |
| 第3地区公民館 自治公民館長・民生児 童委員・福祉関係団 体 | 3地区管 内館長・ 民生児 童委員・福 祉関係団 体 | 17名 | 1月12日 | 金沢屋(関 川) | | ・民生児童委員の方が中心になり実施す る。 | | |
| 実践課題 | 具体的手立て | 事業名 | 対象等 | 人数等 | 時期・回数等 | 会場等 | 成果(○)と課題(■) | 来年度の方向性 |
| | | 第3地区公民館 地域づくり研修会 | 3地区管 内役職員 | 51名 | 1月12日 | 関川しな織 の里ぬくも り館 | ○地域の活性化について学習し、グ ループワークを通して福栄地区の魅 力を再認識することができた。 | ・引き続き、地区の課題等を共有しなが ら、前向きに取組んでいけるような研修を 実施する。 |

| | | | | | | | | |
|--|--|---|--|--------------|--|--|--|---|
| (5) 生涯学習の魅力ある拠点づくり (つづき) | ① 地区公民館事業の充実 1)魅力ある講座等の実施と 地域学習の推進(委員会・ 研修会・公民館講座・イベ ント等) (つづき) | 小中学校児童生徒国内 交流事業 | 福栄小 | 1～6年 | 1月28日 | 福栄小 | ○雪を送るなど交流が継続 | ・学校教育課の小・中学校児童生徒国内 交流事業で対応(兄弟校・姉妹校交流事 業補助金) |
| | | 第4地区公民館 「球技大会」 (ハレーホール、ソフトホー ル、グランドゴルフ・ラージ ホール卓球) | 4地区民 | 延250名 | 6月2日 | 鼠ヶ関 小学校 | ○参加者はみな楽しくプレーできた。 ○地区住民の相互の親睦と融和を深 めることができた。 | ・開催内容の検討。 |
| | | 第4地区公民館 学校地域連携事業 「漁業体験」事業 | 鼠小5年 | 21名 | 7月4日 | 鼠ヶ関港 | ○地場産業である漁業について理解 を深めながら、地域の住民と交流を 図ることができた。 | ・関係機関と連携し今年度同様に開催。 |
| | | 第4地区公民館 地域づくり講座(小学生 対象) 「おもしろ実験教室」 | 鼠小児童 | 26名 | 9月30日 | 鼠ヶ関マ リーナ | ○実験を通し、科学に対する興味・ 関心を引き出し、上学年から下学年 まで交流を図ることができた。 ○「山形県サイエンスナビゲータ派遣 事業」を活用した。 | ・今年度同様に開催予定。 |
| | | 【再掲】第4地区公民館 地域づくり講座(女性対 象)エンジョイワールド出 前講座「コーリー先生と メリークリスマス in 4地 区」 | 4地区民 | 22名 | 12月5日 | 鼠ヶ関マ リーナ | ○外国の文化について、楽しく学ぶ ことができた。 ○幼児から大人まで参加したこと によって、異年齢の交流が図れた。 | ・温海公民館講座出前講座を活用し、地 区民への学習の機会を提供する。 |
| | | 第4地区公民館 役職員研修視察 | 4地区管 内自治公 民館 | 17名 | 10月16日 | 白鷹町・ 高島町 | ○地域活性化事業の取組について、 研修した。 ○東日本大震災を教訓とした自主防 災組織について研修した。 | ・引き続き、地区の課題を共有しながら、 先進地の取り組みについて研修する。 |
| | | 第4地区公民館 地域福祉座談会 | 4地区管 内自治公 民館・民 生児童委 員・福祉 関係団体 | 22名 | 1月15日 | 海洋 センター | ○自治公民館と地域福祉に携わる民 生児童委員及びその関係団体の連 携強化と地域課題を共有化しながら 解決方法を模索し、地域ケアネット ワークの充実を図った。 | ・引き続き、地域課題を共有しながら、地 区住民の福祉の向上と地域ケアネット ワークの充実を図ることを目的とし開催する。 |
| | | 第1・2・3・4地区公民 館共催事業 地域づくり事業(青年 対象)「カクテル講座」 | 温海地域 内 20～40歳 | 20名 | 8月22日 | チット・ モツジェ | ○昨年に引き続きの講座内容であつ たが、定員に欠員なく参加者を得る ことができた。 ○青年層同志の交流を深める機会 づくりとすることができた。 | ・青年層が集う機会をひ引き続き提供す る。 ・魅力的な事業(講座)内容の検討 |
| | | 第1・2・3・4地区公民 館共催事業 地域づくり事業(青年 対象)「3on3inATSUMI」 | 温海地域 内 20～40歳 | 約80名 | 11月14日 | 温海中学 校体育館 | ○温海地域の青年にとって身近なス ポーツであるバスケットボールの大会 を行うことで多くの参加者、応援者 を得て開催することができた。 | ・青年層が集う機会をひ引き続き提供す る。 ・魅力的な事業(講座)内容の検討 |
| 第1・2・3・4地区公民 館共催事業 地域づくり事業(青年 対象)「珈琲講座」 | 温海地域 内 20～40歳 | 15名 | 12月16日 | チット・ モツジェ | ○参加者は純粋に講座としても楽し める内容にすることができたとし、最後 にはスイーツと自分で淹れた珈琲で 参加者同士の交流する時間も設定 することができた。 | ・青年層が集う機会をひ引き続き提供す る。 ・魅力的な事業(講座)内容の検討 | | |

| | | | | | | | | |
|--|--|----------------|-------|--------|------|---------|--|---|
| | | 地区公民館運動会開催支援事業 | 1~4地区 | 2,710名 | 9月2日 | 各地(9ヶ所) | ○地域ごとに工夫を凝らし実施している。多くの参加者による地域の活性化 ○一部競技種目の見直しを行った。 ■一部地域での参加者の減少 ■競技種目のマンネリ化 | ・引き続き支援 ・参加者減少地域の課題解決 ・多くの住民が参加できる競技種目の検討 |
|--|--|----------------|-------|--------|------|---------|--|---|

| 実践課題 | 具体的手立て | 事業名 | 対象等 | 人数等 | 時期・回数等 | 会場等 | 成果(○)と課題(■) | 来年度の方向性 | |
|--|--------------------|---------------------|---------------------------------|--|--|----------------------------------|--|--|----------------------|
| ① 地区公民館事業の充実 1)魅力ある講座等の実施と地域学習の推進(委員会・研修会・公民館講座・イベント等) (つづき) | | 市民大学「赤かぶ大学」 | 一般 | 計143名 ①37名 ②27名 ③28名 ④24名 ⑤27名 | 5回 ①6月10日 ②7月26日 ③8月18日 ④9月19日 ⑤10月30日 | 温海地域 鶴岡 藤沢 田川 | 【内容】 ①「鶴岡・温海地域の食文化を学ぶ！」講師:江頭宏昌氏 ②しいたけ・アスパラ畑見学 ③ところてん作り・早田うり等見学 ④つけもの処本長・民田なす畑見学 ⑤田川・藤沢・温海かぶ畑見学 ○地域独自の農法や多彩な食文化に触れる良い機会となった。 ■より良い講座の持ち方の検討 | ・温海地域の自然資源である「里山と海」について知識を深める。 | |
| | | 国際理解講座「エンジョイワールド」 | 一般 | 214名 ①22名 ②32名 ③63名 ④41名 ⑤34名 ⑥22名 | 6回 ①6月19日 ②7月18日 ③10月31日 ④9月19日 ⑤11月28日 ⑥12月5日 | 各地域 | 【内容】 ①「韓国の風習について」 ②「ジョージさんのイギリス紹介」 ③「ハロウィンパーティーin2地区」 ④「ハロウィンパーティーin3地区」 ⑤「メリークリスマスin1地区」 ⑥「メリークリスマスin4地区」 ○地区で開催したことで参加者が増えた。 ○温海公民館のPRにもなった。 | ・講座内容・講師の更なる充実 ・事業の周知 | |
| | | 第28回温海さくらマラソン大会支援事業 | 選手・地区民 | 1,743人(エントリー者) | 4/21 | 温海温泉 林業センターおよび 温海地域内 | ○春の温海地域のスポーツイベントとして地域内外に定着 ○多くの団体、地域競技役員、ボランティアスタッフの協力により作り上げる地域イベントとしての盛り上がり ■運営組織の人材不足、組織力低下 | ・運営組織の充実、強化、人材育成 ・地域活性化の推進を意識した事業展開 | |
| | | 第28回温海トライアスロン大会支援事業 | 選手 地区民 | 選手292名 役員約450名 | 7月13~14日 | 鼠ヶ関他 | ○大会より日動計測システムを導入し、迅速なレース結果等の処理を実施。 ○選手と地元住民及びスタッフの人的交流と親睦を図ることが出来た。 ■地元競技役員の減少 | ・例年同様、選手と地元住民及びスタッフとの人的交流、親睦を図る。 ・広域的なボランティアスタッフ募集 ・地元競技役員の新たな人材発掘 ・30回記念大会に向けた準備 | |
| | | 2)公民館事業や活動情報誌等の発行 | 地区公民館新聞発行事業 | 地区民 | | 随時 | | ○地区の特色を活かした発行 ○カラー版の掲示などによる情報提供の工夫 | ・情報提供方法の検討 ・内容の充実 |
| | | 3)視聴覚学習の推進 | 庄内視聴覚ライブラリー活用事業(視聴覚教材・資機材の貸し出し) | 小中学校 ミニデイ 老ク等 | 3件(貸出) | 通年 | | ■利用者の減少 | ・庄内視聴覚ライブラリー廃止後の運用 |
| ② 鼠ヶ関青少年海洋センターの運営 | 指定管理者の鼠ヶ関自治会との連携事業 | | | 通年 | | ○鼠ヶ関自治会が指定管理者となり、施設の適切な施設管理を行った。 | ・用途を廃止し、鼠ヶ関自治会へ建物を無償譲渡する。 | | |

| | | | | | | | |
|---|--------------|--------|-----------------|------|--|---|------------------------|
| ③ 施設設備等の整備や事業運営に関する支援 1)公民館類似施設で行う多様な生涯学習事業の支援 | 公民館類似施設運営事業 | 27自治公 | 9,396千円 | 6月交付 | | ○各自治公事業展開への支援 | ・補助金交付等による公民館事業への積極的支援 |
| ④ 公民館類似施設の建設整備等への補助金交付 | 公民館類似施設整備等事業 | 各自治公民館 | 4自治公 2,471千円 | 随時 | | ○緊急度が高い施設修繕(大規模改修、有線放送設備改修等)や備品整備(コピー機等)の補助 | ・各自治公との連携強化と支援 |

重点事項 3. 豊かな感性を高める文化の振興

| 実践課題 | 具体的手立て | 事業名 | 対象等 | 人数等 | 時期・回数等 | 会場等 | 成果(○)と課題(■) | 来年度の方向性 |
|---------------------------|---------------------|--|---|--|----------------|-----------------------|--|---|
| (1) 創造性を育む芸術文化活動の振興 | ① 芸術文化振興事業 | 芸術文化振興事業 (温海芸術文化協会支援) | 団体18 個人15人 | 317人 | 通年 | | ○会員相互の親睦 ■会員の高齢化 | ・事業展開の検討 ・芸文協のPR、新規会員の加入 |
| | | 写真・生け花・絵画等 作品展開催事業 | 協会会員 | 来場者数 110人 展示数 152点 参加人数 41人 | 1回 | ふれあい センター | ○市芸術祭への参加による会員の意識向上 | ・芸文協会員による展示会の運営や会員の意識向上 ・展示レイアウト、周知方法の検討 |
| | | 体験教室の開催 | 小学生～ 一般成人 | 10名 | 2回 | ふれあいセ ンター他 | ○芸術文化に触れる機会の提供として、当会員が体験教室を企画実施した。小学生～一般成人までの参加があった。(陶芸、ペン字) | ・継続して開催することにより、会員の加入促進を目指す。 |
| | | 芸術文化振興事業 (第8回鶴岡市芸術祭協賛 第30回温海文化祭開催) | 幼児～老人 | 1,200 | 10/30～ 11/3 | ふれあい センター アトリウム | ○30回記念として伝統文化の継承をテーマに実施し、特別展示と特別ステージを行った。 ○生涯学習成果の発表の場として定着 ○各団体の出店やお茶会などによる会場の賑わいの創出(11/3ステージ発表) ■ステージ発表出演者の減少 ■温海地域内のイベントが重なった | ・出演者、出展者の協力、各団体等への働きかけによる、賑わいと活気溢れる文化祭を開催 ・ステージ出演に際しては、地域の伝統芸能団体への積極的な呼びかけ |
| | | 山響ホリデーコンサート inあつみ | 小学生～ 一般 | 224 | H26 2/23 | ふれあい センター | ○幅広い年代層の方からクラシック音楽を楽しんでいただいた。 ○プロの演奏に触れ、芸術文化への意識の高揚が図られた。 | ・芸術文化に触れる機会の創出 |
| (2) 歴史に育まれた伝統文化と文化財の保存・活用 | ① 文化財管理保存事業 | 文化財管理保存事業 | 玉杉根幹 保護管理 摩耶山 小国城跡 | | 通年 通年 | | ○シャリンバイ公園・玉スギ・小国城跡・摩耶山・曹源寺のヒサカキの維持管理 | ・今年度同様継続 |
| | ② 民俗芸能等の保存伝承 | 民俗芸能保存伝承事業 | 山戸能 山五十川歌 舞伎 木野俣獅子 踊 小国八幡宮 弓射神事 | | 通年 | | ○補助金交付等による、市県指定無形民俗文化財の保存継承(山戸能・山五十川歌舞伎・木野俣獅子踊・小国八幡宮弓射神事) | ・今年度同様継続 ・各種助成事業の情報提供(各保存会) ・他課との連携による支援の強化 |
| (3) 文化活動の中核施設の整備・充実 | ① 温海ふれあいセンターの管理運営事業 | 舞台発表など文化活動施設としての維持管理 | ふれあい センター | | 通年 | | ○利用しやすい施設運営 ○利用率の向上にむけ、山響ふれあいコンサートを実施した。 ■施設の老朽化 | ・安全、安心を基本とした施設運営 ・サークル活動への利用促進 ・施設の維持補修管理 |

| | | | | | | | |
|-------------------------|------------|------------|------------------------|--|----|----------------------------|--------------------------|
| (4) 文化資源の保存・研究 基盤の整備 | ① 文化資料調査事業 | 郷土資料調査整備事業 | 菅野代施設 (旧菅野代 小学校) | | 通年 | ○消防設備不良個所の修繕 ■菅野代施設の老朽化 | ・郷土資料の保存管理 ・施設の維持補修管理 |
|-------------------------|------------|------------|------------------------|--|----|----------------------------|--------------------------|

◎平成25年度 社会体育の実績と課題及び来年度の方向性

スポーツ課(温海駐在)

重点事項 1 各ライフステージに応じた生涯スポーツの推進

| 実践課題 | 具体的手立て | 事業名 | 対象等 | 人数等 | 時期・回数等 | 会場等 | 成果(○)と課題(■) | 来年度の方向性 |
|----------------------------|----------------------|----------------------|------------|---|--------------|---|--|--|
| (1)誰もが取り組める健康・体力づくりの推進 | ①総合型地域スポーツクラブの活動支援 | あつみスポーツクラブネクサス活動支援事業 | 地域住民 | H24会員 130人 ↓ H25会員 129人 | 通年 | 林業センター他 | ○補助金による財政的支援や事務的支援を行った。クラブでは、健康づくり講座やトレーニングルームの開設のほか、集落に向いてのサテライト型教室を実施し、参加者から好評を得た。また、年二回の広報発行を通じて会員数の増加を図った結果、会員数1名減、賛助会員5団体増となった。 ■市や温海体育協会からの補助金の支援はあるものの、財政的には厳しい状況である。 ■会員数を増やすため様々な取り組みを行っているが、近年頭打ちの状況にある。 | ・クラブの健全運営のためには、会員数の増加による会費収入を増やすことが必要であり、様々な取り組みを通じて会員増を図っているが、近年頭打ちの状況が続いている。 ・引き続きクラブの活動を支援しながら、市民にスポーツの楽しさや健康的な運動の重要性を広めていく。 |
| | ②ウォーキングの普及 | 50万歩への挑戦普及事業 | 地域住民 | | 通年 | 地域内 | ○温海地域達成者 3名 ■参加者が固定化している。 | ・広報等を通じて事業の周知を図る。 |
| (2)多くの市民が参加できるスポーツ行事の開催・支援 | ①てくてく健康里山あるきの実施 | てくてく健康里山あるき開催事業 | 市民 | 鼠 94人 湯 100人 小 88人 計 282人 ※H24比 70人増 | 5月26日(日) | 鼠ヶ関・早田 | ○近年のウォーキングブームの影響もあり、全コースとも昨年度より参加者が増えた。 ○昼食時のつみれ汁、豚汁、ナメコ汁、温海かぶなど温海地域の特色を活かしたおもてなしで好評を得た。 ■全体の参加者は増えたものの、温海地域の参加者は少なく、固定化している。 | ・温海地域内の参加者は少ないもの他地域の参加者からは喜ばれており、温海地域の素晴らしい自然をPRできる機会と捉え引き続き実施していく。 ・参加費と市の補助金で十分運営できるため、地元の主体性や今後の実施体制の在り方を考えていく。 |
| | | | | | 9月29日(日) | 峠ノ山～湯温海 | | |
| | | | | | 10月20日(日) | 小俣～小国 | | |
| | ②駅伝大会の開催支援 | 第53回温海駅伝大会開催支援事業 | 体育協会 | 12チーム 選手 200人 役員 50人 | 10月6日(日) | 温海中学校前スタート 林業センターゴール | ○9区間、26.9キロの距離で開催した。各体協支部チームのほか、温海地域外から3チームが参加し盛り上げていただいた。 ■選挙日程や国道7号越波対策工事の影響で、日程やコース変更を余儀なくされ、各方面にご迷惑をかけた。 | ・昨年度の反省から中継所の人員体制を強化したが、来年度からは市職員の配置を減らし、体育協会の自主運営体制の強化を図る。 ・26年度は北回りコース、9区間約30キロをめどに10月12日(日)に開催予定。 |
| | ③鶴岡市駅伝大会への参加支援 | 第59回鶴岡市駅伝大会参加支援事業 | 体育協会 | 選手 23人 役員 20人 | 10月27日(日) | 小真木原陸上競技場 ほか | ○温海チームは26チーム中12位という結果だった。 ○温海ランニングクラブが活動を始め、このメンバーがチームの中心となっている。また、区間2位など中・高校生の活躍が目立った。 ■成人選手及びスタッフの確保が課題である。 | ・ランニングクラブを中心としながら、一年を通じた練習を行いチーム力強化を図る。また、チームの自主的な運営ができるように取り組む。 |
| ④鶴岡市民総合体育大会への参加支援 | 第59回鶴岡市民総合体育大会参加支援事業 | 体育協会 競技団体 | 6種目 69人 | 8月10日(土) ～ 8月11日(日) | 小真木原総合体育館 ほか | ○卓球女子が準優勝の活躍であった。 ○昨年度より参加競技が一つ増えた。(柔道) ■参加する種目、チーム数とも他地域に比べてまだ少ない。 | ・今年度同様参加団体を支援する。 ・参加種目を増やすよう、各団体への周知・働きかけを行う。 | |

| 実践課題 | 具体的手立て | 事業名 | 対象等 | 人数等 | 時期・回数等 | 会場等 | 成果(○)と課題(■) | 来年度の方向性 |
|--------------------------|------------------------|---------------|---------|--|---------------------------------|-------------|--|--|
| (3)スポーツ教室による健康・生涯スポーツの推進 | ①スポーツ推進委員会主催のスポーツ教室の開催 | 軽スポーツ教室 | 地域住民 | 14名 | 6月21日(金) 7月12日(金) 8月9日(金) | 小名部構造改善センター | ○あつみスポーツクラブネクサスのサテライト型教室と共催で軽スポーツ教室を開催し、身近に軽スポーツを行う機会を作った。 ■参加者が少なく、周知方法などに工夫が必要。 | ・スポーツクラブとの連携を図りながら軽スポーツの普及に努めていく。 |
| | ②ヨット競技の普及推進のための事業実施 | ヨット教室 | 市内小中他 | 約250人 | シーズン中 | 鼠ヶ関マリーナ | ○シンボルスports「ヨット」の普及推進のため、小学校を中心にヨット教室を開催した。鼠ヶ関小学校のほか、大網小学校の参加もあった。 ■雨天の影響で中止となった教室もあった。 ■少子化の影響で参加者が減少傾向にある。 | ・引き続きセーリング連盟と連携しヨット教室を開催する。 ・学校行事以外にも広く参加者を募集したヨット教室を開催する。 |
| (4)生涯スポーツ指導者、団体の育成 | ①スポーツ推進員の研修の充実 | スポーツ推進員研修事業 | スポーツ推進員 | 8人 | 通年 | 地域内 | ○市全体の研修会へ参加し、推進委員の資質向上を図った。 ■出産や転居などで活動に参加できない推進委員もいる。 | ・来年度も各種活動を通じて軽スポーツの普及・促進に努める。 ・スポーツ推進員の更新時期であるため、新たな推進員を確保し、活動の充実を図る。 |
| | ②ヨット競技団体の育成 | ヨット競技団体育成事業 | セーリング連盟 | 50人 | 通年 | 地域内 | ○今年度は鼠ヶ関マリーナでの大会がなく、また、温海中学校ヨット部の廃部などで大会派遣もなかったため、温海セーリング連盟に対する補助金の交付はなかった。 ■地元の中、高校のヨット部がなくなり、ヨット連盟の活動も停滞している。 | ・中学、高校のヨット部の廃部により、ヨット競技の衰退が危惧される。セーリング連盟と今後のヨット振興について協議していく。 |
| | ③体育協会の活動支援 | 体育協会活動支援事業 | 温海体育協会 | | 通年 | 地域内 | ○温海体育協会に対し補助金による財政支援と事務的支援を行い、協会の健全運営と生涯スポーツの推進を図った。 ■加盟各団体では会員数が減少しており、活動が停滞している団体もある。 | ・加盟各団体及び上部団体との連携を図り、地域内競技スポーツの振興と生涯スポーツの普及に努める。 |
| | ④スポーツ少年団の活動支援 | スポーツ少年団活動支援事業 | スポーツ少年団 | 団員 131人 ※24年比 △6人 指導者 27人 | 通年 | 地域内 | ○代表者会議を開催し各団の情報交換を行った。 ■少子化の影響で団員確保が厳しい。 | ・団同士の情報交換の場を設定し、活動環境の確保に努める。 ・小中学校と連携を密にし、情報の共有を図る。 |

重点事項 2 感動と活力を与える競技スポーツの振興

| 実践課題 | 具体的手立て | 事業名 | 対象等 | 人数等 | 時期・回数等 | 会場等 | 成果(○)と課題(■) | 来年度の方向性 |
|--------------------|--------------|-------------|-----|-----|--------|-----|---|----------------|
| (1)全国レベルで活躍する選手の育成 | ①体育協会等への活動支援 | 体育協会等活動支援事業 | 市民 | | 通年 | | ○鶴岡市体育協会、スポーツ強化後援会と連携し、全国で活躍する選手の活動を支援した。 | ・25年度同様の支援を行う。 |

重点事項 3 スポーツ・レクリエーション施設の整備充実

| 実践課題 | 具体的手立て | 事業名 | 対象等 | 人数等 | 時期・回数等 | 会場等 | 成果(○)と課題(■) | 来年度の方向性 |
|---------------------------------|----------------|-----------------|-----|----------------------------|-------------------|---------|--|--|
| (1)スポーツ・レクリエーション施設の効率的な活用と適正な管理 | ①市営体育施設などの維持運用 | 温海総合運動場管理運営事業 | 市民 | 2,160人 | 4月20日(休)～11月4日(月) | 温海総合運動場 | ○温海地域の野球、ソフトボールのナイターリーグやスポ少の練習、ゲートボール大会などに利用された。 ■野球・ソフトボール人口の減少もあり年々利用者が減少している。 ■大雨によるグラウンドの砂の流失や、随所に施設の老朽化が見られ、利用者の安全確保のための修繕が課題となる。 | ・25年度同様に運営する。 ・予算要求しながら施設修繕を図る。 |
| | | 温海湯見ヶ代運動場管理運営事業 | 市民 | テニス 212人 グラントゴルフ 2,287人 | 4月20日(休)～11月4日(月) | 湯見ヶ代運動場 | ○夏場に学生の合宿等に利用され、テニスコートの利用者が増えた。また、グラントゴルフはほぼ毎日利用者がいる。 ■普段はテニスコートの利用者はほとんどいない。また、コート表面や備品等随所に老朽化が見られる。 | ・25年度同様に運営する。 ・予算要求しながら施設修繕を図る。 |
| | | 県営鼠ヶ関マリーナ管理運営事業 | 市民 | 約2,500人 | 通年 | 鼠ヶ関マリーナ | ○行楽時期に悪天候が続き、利用者数は伸びなかったが、利用者安全に配慮し良好な施設運営を行った。 ■塩害や施設の老朽化に伴い修繕が必要な箇所が増えている。 | ・指定管理委託期間の終了する平成27年度以降の管理体制について、県と協議を詰めていく。 ・県と連携しながら施設の修繕等進めていく。 |
| | | 福栄体育館管理運営事業 | 市民 | 2,800人 | 通年 | 福栄体育館 | ○スポ少の利用とともに、福栄地区のスポーツ拠点として多くの利用があった。 ■施設の老朽化が見られ、安全性の確保が課題となっている。 | ・安全性を確保しながら、25年度同様に運営する。 ・管理方法について利用団体の話し合いの場を設ける。 |
| (2)小中学校体育施設の開放 | ①各種施設開放事業の実施 | 市立学校等体育施設開放事業 | 市民 | 35,000人 | 通年 | 地域内小中学校 | ○市営の屋内体育施設がない温海地域において、スポーツ振興に大きな役割を果たしており、スポーツ活動の他にも文化的活動にも利用されている。 | ・各学校と調整しながら、引き続き効率的な利用を図る。 |

平成26年度

温海地域社会教育関係事業

重点事項及び事業計画

◎平成26年度 生涯学習・社会教育の実践課題と具体的手立て・事業計画

温海地域【社会教育】

重点事項 1. 逞しさ・優しさ・賢さを育む学校教育の推進

| 実践課題 | 具体的手立て | 事業名等 | ねらい | 対象等 | 人数等 | 時期・回数等 | 会場等 | 備考 |
|-----------------------|----------------------|------------------------------|--------------------------|-----|-----|--------|-----|----|
| (1) 心豊かで思いやりのある青少年の育成 | ① 地域社会における青少年育成活動の推進 | 青少年健全育成事業 (青少年育成推進員連絡協議会) | 市主催の研修会等への参加 補導活動への参加 | 推進員 | 5人 | 通年 | 市内 | |

重点事項 2. 多様な学習活動を支援する環境づくりの推進

| 実践課題 | 具体的手立て | 事業名等 | ねらい | 対象等 | 人数等 | 時期・回数等 | 会場等 | 備考 | | |
|----------------------------|-----------------------------|--------------------|------------------------------|-------------------|-----------------------------|--------|------|---------|-------|--------------|
| (1) 社会教育施策の充実と社会教育関係団体への支援 | ① 社会教育委員会議 | 社会教育委員会開催事業 | 基本方針・重点事項の審議 | | 20人 | 2回 | 本所 | 温海地区2人 | | |
| | | 温海地域青年団体連絡協議会支援 | 青年団体の育成(商工・農協・漁協) | 3団体 | | 通年 | | | | |
| | | 地域婦人会支援 | 婦人会員の交流と学習 | 9単位婦人会 | | 通年 | | 補助金60千円 | | |
| | ② 社会教育関係団体活動支援 | 温海地域女性団体連絡協議会支援 | 女性団体の交流とリーダー育成 | 5団体 | | 通年 | | | | |
| | | ③ 社会教育関係職員の研修の充実 | 社会教育関係職員研修 | 社会教育指導員の資質向上 | 社会教育指導員 | 1人 | 通年 | | | |
| | | | 生涯学習推進員研修会 | 推進員の資質向上 | 推進員 | 16人 | 1～2回 | | | |
| (2) 市民の学習を促進する社会教育事業の展開 | ① 生涯学習振興事業 1)学習情報の提供 | 生涯学習イベントポスターの作成 | 駅伝・文化祭・学校文化祭・各種イベントの取りまとめと調整 | 市民 | 約30事業 10～11月 | 9月 | 温海地域 | | | |
| | | 生涯学習情報誌 広報 温海地域版等 | イベント、講座等の開催情報提供 | 市民 | | 通年 | 温海地域 | | | |
| | | 温海地域年間行事計画発行事業 | 年間予定の情報提供 | 市民 | | 4月 | 温海地域 | | | |
| | ② 家庭教育推進事業 1)家庭教育支援講座の開催 | 家庭教育支援講座の開催 | 小中学校・保育園での講座 | 親の資質向上 | 保護者等 | | 通年 | 温海地域 | 各保小中 | |
| | | 家庭教育支援講座(温海地域単独事業) | 未就園児を持つ保護者への講座 | 親の資質向上 | 保護者等 | | 1回 | 林業センター | | |
| | | 2)PTA研修事業の支援 | PTA合同研修会支援 | 家庭教育等研修 | 小・中PTA会員 | | | 1回 | 福栄小 | 全体研修に補助金49千円 |
| | | | 3)ブックスタート事業 | ブックスタート事業(全市統一実施) | 7か月健診時、絵本の読み聞かせの実演とともに絵本を贈呈 | 乳幼児 | | 24回 | ここ・ふる | 図書館、健康課と連携 |

| 実践課題 | 具体的手立て | 事業名等 | ねらい | 対象等 | 人数等 | 時期・回数等 | 会場等 | 備考 | |
|-------------------------------|---------------------------------------|---------------------|------------------|---------|-------|--------|----------|----------------|----------------|
| (2) 市民の学習を推進する社会教育事業の展開 (つづき) | ③ 青少年教育事業 1)地域の資源を生かした学習事業、体験事業の充実 | 温海地域小学生リーダー研修会 | リーダー育成研修 | 小高学年 | 25人 | 3月 | | | |
| | | 青少年ボランティア養成講座 | 青少年ボランティア精神の啓発 | 中高生 | 30人募集 | 6回 | 温海地域 | | |
| | | 2)青少年の健全育成 | ぼく・わたしの一人一標語運動実施 | 青少年健全育成 | 小・中学生 | | 6～11月 | 各集落 | ・有線放送 ・ポスター |
| | ④ 青年層の社会参画活動の推進 | 温海地域新成人交流事業支援 | 自立心と社会参加 | 温海地区成人 | 約100人 | 8/15 | ふれあいセンター | | |
| | ⑤ 住民が主体となった学習活動の支援 | 女性団体連絡協議会講演会 | 地域づくりに向けた意識向上 | 一般市民 | 150人 | 11月 | ふれあいセンター | | |
| | | 婦人会研修会開催事業 | 婦人会員の意識向上 | 婦人会会員 | 120人 | 3月 | ふれあいセンター | | |
| | | 高齢者大学「寿燦々塾」支援 | 生きがいづくり | 老人クラブ | | 通年 | | 市民福祉課が担当 | |
| | | 老人体育レクリエーション支援 | 健康づくり | 老人クラブ | | 9月 | 温海小 | | |
| | (仮称)第1～第4地区自治会事業(新) | | | | | | | | |
| | (仮称)地区自治会運営委員会(第1～4) | 各地区自治会の基本方針・重点事項の審議 | 運営委員 | | | 4月 | 各地域 | | |
| | (仮称)各地区自治会役職員研修 | 指導者等の育成 | 各地区自治会役職員 | | | 6～2月 | | 講演、視察等 | |
| | (仮称)地区自治会運営事業 | 地区自治会への支援 | 1～4地区 | | | 通年 | | 補助金 1,459千円 | |
| | 地域づくり講座(小学生対象) | 地域資源を活かした体験事業 | 小学生 | | | 随時 | 各地域 | 温海公民館と共催 | |
| | 地域づくり講座(女性対象) | 日常に役立つ学習及び交流の推進 | 女性 | | | 随時 | 各地域 | 温海公民館と共催 | |
| 学校・地域連携事業 地域産業学習事業 | 学校と地域との連携による地場産業への理解、地域資源の有効活用 | 小学生 | | | 随時 | 各地域 | | | |
| 地区運動会開催支援事業 | 地区民の交流と郷土愛の育成 | 1～4地区 | | 約3,000人 | 9/7 | | | | |
| 地区自治会新聞発行事業 | 地区内の事業、話題等を紹介 | 地区民 | | | 随時 | | 各地区 | | |

| 実践課題 | 具体的手立て | 事業名等 | ねらい | 対象等 | 人数等 | 時期・回数等 | 会場等 | 備考 | |
|----------------------------------|--------------------------------------|--------------------------------------|---|-----------------|-----------------|---------------|-----------------------------------|--------------|----------------|
| (2) 市民の学習を推進する社会教育事業の展開 (つづき) | ⑤ 住民が主体となった学習活動の支援(つづき) | 第29回温海さくらマラソン大会支援事業 | 温海のPRと地域連帯感及び地域振興の向上 | 選手・地区民 | 約1,600人 (定員) | 4/20 | | 補助金 665千円 | |
| | | 第29回温海トライアスロン大会支援事業 | 温海のPRと地域連帯感及び地域振興の向上 | 選手・地区民 | 約320人 (参加者) | 7/19～20 | 鼠ヶ関外 | 補助金 665千円 | |
| (3) 地域公民館のあり方の検討 | ① 地域の拠点施設としての公民館のあり方の検討 | 地域公民館管理運営事業 (温海地域地区公民館運営審議会開催) | 温海地域の基本方針・重点事項の審議、「温海公民館と地域活動のあり方」についての検討 | 委員 | 14人 | 3回 | ふれあいセンター | | |
| (4) 生涯学習社会に対応する図書館づくり | ① 図書館事業の充実 | 図書整備事業 (一般、児童図書、雑誌等購入) | 利用しやすい環境整備と図書の充実 | 一般市民 | | 通年 | | | |
| | | ③ おはなし会、対面朗読等読書推進活動の支援及び関係ボランティアの育成 | 読書奨励事業 (絵本読み聞かせ隊「ポッケ」支援事業) | ボランティアによる教育力の向上 | 一般 | 3,500人 | 通年 (150回) | 温海地域 | |
| | | 読み聞かせおはなし会(読み聞かせボランティアの協力をいただきながら開催) | 子どもの読書推進 | 幼児・児童 | 100人 | 4回 | ふれあいセンター | | |
| | ② 自動車文庫「やまびこ号」による移動図書館事業の実施 | 図書館運営事業 | 読書の推進 | 児童 | | 昼休・放課後30分～60分 | 山戸小 鼠ヶ関小 五十川小 温海小 福栄小 | | |
| (5) 生涯学習の魅力ある拠点づくり | ① 温海公民館事業の充実 1)魅力ある講座等の実施と地域学習の推進 | 市民大学「赤かぶ大学」 | 市民の教養向上を図る | 一般 | 25人募集 | 6回 | 各地域 | 温海公民館講座 | |
| | | 国際理解講座「エンジョイワールド」 | 国際交流への理解 | 一般 | 25人募集 | 6回 | 各地域 | 温海公民館講座 | |
| | | 青年講座 | 勤労青年を対象とした学習・交流の推進 | 青年 | | 随時 | 各地域 | 地区自治会と共催 | |
| | 2)視聴覚学習の推進 | 視聴覚教材活用事業 (視聴覚教材・資機材の貸し出し) | 視聴覚教育の推進 | ミニデイ、老ク等 | | 通年 | | 中央公民館が窓口 | |
| | | ② 登録公民館の事業運営や施設設備等への補助金交付 | 公民館類似施設運営事業 | 自治公民館運営への支援 | 27自治公 | | | | 補助金 9,396千円 |
| | 公民館類似施設整備等事業 | | 施設・備品・有線放送設備等修繕補助 | 各自治公民館 | | 通年 | | 整備補助 | |

重点事項 3. 豊かな感性を高める文化の振興

| 実践課題 | 具体的手立て | 事業名等 | ねらい | 対象等 | 人数等 | 時期・回数等 | 会場等 | 備考 |
|---------------------------|---------------------|--|--|---|-----|----------------|-----------------------|-----------------|
| (1) 創造性を育む芸術文化活動の振興 | ① 芸術文化振興事業 | 芸術文化振興事業 (温海芸術文化協会支援) | 団体の交流と連携の推進 | 団体18個人15人 | | | | 補助金 104千円 |
| | | 写真・生け花・絵画等作品展開催事業 | 発表機会の提供、意欲向上 | 協会会員 | | 1回 | ふれあい センター | |
| | | 芸術文化体験教室の開催 | 芸術文化協会会員による体験教室を開催し、市民の芸術文化への関心を高め会員の増加に努める。 | 小学生～一般 | | 2～3回 | ふれあい センター | |
| | | 芸術文化振興事業 (第9回鶴岡市芸術祭協賛 第31回温海文化祭開催) | 地域住民の創作活動を公開する場を提供し、文化の振興を図る | 幼児～老人 | | 10/30～ 11/3 | ふれあい センター アトリウム | 補助金 219千円 |
| (2) 歴史に育まれた伝統文化と文化財の保存・活用 | ① 文化財管理保存事業 | 文化財管理保存事業 | 文化財の保存管理に係る指導支援 | 玉杉根幹保護 管理 | | 通年 | | 補助金 60千円 |
| | | | | 摩耶山 小国城跡 | | 通年 | | 謝金等 33千円 |
| | ② 民俗芸能等の保存伝承 | 民俗芸能保存伝承事業 | 民俗芸能・伝統行事の保存伝承支援 | 山戸能 山五十川歌舞伎 木野俣獅子踊 小国八幡宮弓射 神事 | | 通年 | | 補助金 176千円 |
| (3) 文化活動の中核施設の整備・充実 | ① 温海ふれあいセンターの管理運営事業 | 舞台発表など文化活動施設としての維持管理 | 延べ約2万人利用 (12/29～1/3休館) 施設保守点検・施設修繕等管理費 | ふれあいセンター | | 通年 | | 管理費 12,140千円 |
| (4) 文化資源の保存・研究基盤の整備 | ① 文化資料調査事業 | 郷土資料の保存管理 | 菅野代施設に郷土資料を保存 | 菅野代施設 (旧菅野代小学校) | | 通年 | | 管理費 657千円 |

◎平成26年度社会体育の実践課題と具体的手立て・事業計画

スポーツ課(温海駐在)

重点事項 1、各ライフステージに応じた生涯スポーツの推進

| 実践課題 | 具体的手立て | 事業名 | ねらい | 対象等 | 人数等 | 時期・回数等 | 会場等 | 備考 |
|----------------------------|------------------------|----------------------|---|---------------|---------------------------|----------------------------------|------------------------|----------|
| (1)誰もが取り組める健康・体力づくりの推進 | ①総合型地域スポーツクラブの活動支援 | あつみスポーツクラブネクス活動支援事業 | 市民が手軽にスポーツを楽しめる場としてスポーツクラブネクス活動の支援し、生涯スポーツの振興を図る。 | 地域住民 | 25会員129人 ↓ 26会員150人 | 通年 | 林業センター 他 | |
| | ②ウォーキングの普及 | 50万歩への挑戦普及事業 | いつでも無理なく出来る運動、ウォーキングの普及による健康増進を図る | 地域住民 | 全住民 | 通年 | 地域内 | |
| (2)多くの市民が参加できるスポーツ行事の開催・支援 | ①てくてく健康里山あるきの実施 | てくてく健康里山あるき開催事業 | ウォーキング普及の基盤づくり。 | 市民 | 1回 100人 計 300人 | 6月1日(日) 9月28日(日) 10月19日(日) | 鼠ヶ関 他 湯温海 他 小国 他 | |
| | ②駅伝大会の開催支援 | 第54回温海駅伝大会開催支援事業 | 温海体育協会と連携し、陸上中長距離競技のレベルアップと、指導者育成を図る。 | 体育協会 | 選手200人 役員50人 | 10月12日(日) | スタート・ゴール地は未定 | 北周りコース予定 |
| | ③鶴岡市駅伝大会への参加支援 | 第60回鶴岡市駅伝大会参加支援事業 | 体育協会と連携し、陸上中長距離競技のレベルアップと、指導者育成を図る。 | 体育協会 | 選手20人 役員20人 | 10月26日(日) | 小真木原陸上競技場 他 | |
| | ④鶴岡市民総合体育大会への参加支援 | 第60回鶴岡市民総合体育大会参加支援事業 | 温海体育協会、競技団体と連携し、代表チームの参加を促進する。 | 体育協会 各競技団体 | 参加7種目 70人 | 8月9日(土) ・10日(日) | 小真木原総合体育館 他 | |
| | ⑤チャレンジデー2014への参加 | 鶴岡市チャレンジデー2014 | 全市で取り組むスポーツイベントを推進し、市民がスポーツに親しむ機会作りを行う。 | 市民 | H25参加率 20.7%→ | 5月28日(木) | 各地域 | |
| (3)スポーツ教室による健康・生涯スポーツの推進 | ①スポーツ推進委員会主催のスポーツ教室の開催 | 軽スポーツ教室 | スポーツクラブネクスと連携し、子どもから高齢者まで手軽に楽しめるスポーツの普及を図る。 | 地域住民 | 60人 | 3回 | 各集落 | |
| | ②ヨット競技の普及推進のための事業実施 | ヨット教室 | 温海地域のシンボルスポートとしてヨットの普及を図る。 | 市内小中他 | 約500人 | シーズン中 | 鼠ヶ関マリーナ | |
| (4)生涯スポーツ指導者、団体の育成 | ①スポーツ推進委員の研修の充実 | スポーツ推進委員研修事業 | 地域のスポーツリーダーとしてのスポーツ推進委員の資質向上を図る。 | スポーツ推進委員 | 8人 | 通年 | 地域内 | |
| | ②ヨット競技団体の育成 | ヨット競技団体育成事業 | 温海地域のシンボルスポートとして普及を図る。 | セーリング連盟 | 50名 | 通年 | 地域内 | |
| | ③体育協会の活動支援 | 体育協会活動支援事業 | 地域スポーツの甲殻団体として組織強化を図り、各団体の指導的役割を果たすために支援する。 | 市民 | | 通年 | 地域内 | |
| | ④スポーツ少年団の活動支援 | スポーツ少年団活動支援事業 | スポーツ少年団活動を通じた青少年の健全育成と指導者の育成を図る。 | スポーツ少年団 | 9団 団員137人 指導者37人 | 通年 | 地域内 | |

重点事項 2、感動と活力を与える競技スポーツの振興

| 実践課題 | 具体的手立て | 事業名 | ねらい | 対象等 | 人数等 | 時期・回数等 | 会場等 | 備考 |
|--------------------|--------------|-------------|--|-----|-----|--------|-----|----|
| (1)全国レベルで活躍する選手の育成 | ①体育協会等への活動支援 | 体育協会等活動支援事業 | 鶴岡市体育協会、スポーツ強化後援会の活動を支援することにより全国レベルの選手育成を図る。 | 市民 | | 通年 | | |

重点事項 3、スポーツ・レクリエーション施設の整備充実

| 実践課題 | 具体的手立て | 事業名 | ねらい | 対象等 | 人数等 | 時期・回数等 | 会場等 | 備考 |
|---------------------------------|----------------|-----------------|-------------------------------|-----|-------------------------------|------------|---------|----|
| (1)スポーツ・レクリエーション施設の効率的な活用と適正な管理 | ①市営体育施設などの維持運用 | 温海総合運動場管理運営事業 | 安全で使いやすいスポーツ環境を整え、スポーツの振興を図る。 | 市民 | 3,000人 | 4月下旬～11月上旬 | 温海総合運動場 | |
| | | 温海湯見ヶ代運動場管理運営事業 | 安全で使いやすいスポーツ環境を整え、スポーツの振興を図る。 | 市民 | テニス300人 グラウンドゴルフ 3,000人 | 4月下旬～11月上旬 | 湯見ヶ代運動場 | |
| | | 県営鼠ヶ関マリーナ管理運営事業 | 安全で使いやすいスポーツ環境を整え、スポーツの振興を図る。 | 市民 | 3,000人 | 通年 | 鼠ヶ関マリーナ | |
| | | 福栄体育館管理運営事業 | 安全で使いやすいスポーツ環境を整え、スポーツの振興を図る。 | 市民 | 3,000人 | 通年 | 福栄体育館 | |
| (2)小中学校体育施設の開放 | ①各種施設開放事業の実施 | 市立学校等体育施設開放事業 | 地域の学校体育施設を有効に活用し、スポーツの振興を図る。 | 市民 | 40,000人 | 通年 | 市内小中学校 | |